

# 第6回県庁舎再整備懇話会 会議録

## 1 日時

令和8年3月9日(月) 13時15分～14時45分

## 2 場所

岩手県庁 12階 特別会議室

## 3 出席者

### 【構成員(五十音順)】

青笹健 岩手県立大学盛岡短期大学部 教授  
市島宗典 白鷗大学法学部 教授  
小野田泰明 東北大学大学院工学研究科  
小井田伸雄 岩手県立大学総合政策学部 教授  
工藤直樹 岩手県商工会議所連合会 専務理事  
高橋進 岩手県社会福祉協議会 専務理事  
田村圭子 新潟大学危機管理本部危機管理センター 教授  
南正昭 岩手大学理工学部 教授  
山本康友 大阪公立大学 客員教授

### 【県側出席者】

千葉 企画理事  
岩間 総務部管財課総括課長  
二本松 総務部管財課特命課長  
細川 総務部管財課主任主査  
島越 総務部管財課主任  
上平 総務部管財課主任

## 4 議事の内容

- (1) 開会
- (2) 議事
  - ① 第4回・第5回懇話会意見への対応について
  - ② パブリック・コメントの実施状況について
  - ③ 岩手県庁舎再整備基本構想案について
  - ④ 今後の進め方について
- (3) その他
- (4) 閉会

## 5 質疑

- ① 第4回・第5回懇話会意見への対応について

### 南会長

それでは資料1の説明に対しましてご質問等ありますでしょうか。

### 小井田構成員

ワークショップ等について少し気になっているのが、基本計画の策定にあたり、今回の基本構想から段階的に進めていくという理解はしていますが、一方で、スケジュールとしてはかなりタイトなところもあると思いますので、基本計画で実施する予定であるのに、実際なかなか時間が取れず形式的になってしまう可能性があることを少し気にしています。

なるべく意見を反映していくことについて、もう少しこういう形で担保したいといった点があれば教えていただきたいです。

### 岩間課長

重要なお意見をいただいたと考えております。

この後、説明させていただきますが、来年度のスケジュールも実はかなり複層したスケジュールとなっています。

正直、全県にわたってワークショップを実施するような、期間を長く要する取り組みはなかなか厳しいと事務局で話しているところです。

ただ一方で、まちづくりの団体や、いわゆる県民の各世代の層等を代表するような団体、NPOなどとお話をする機会は、十分に設けることができると考えております。

今後、基本計画の策定にあたって支援をいただく事業者と、どういうものが現実的に可能なのかということは話しますが、実際、形式的なものにとどまるということは我々としては全く考えておりません。

何とか限られた期間の中でも、有益で有効な意見交換ができるような手法について探って参りたいと考えています。

### 小井田構成員

そのようなご返答をいただいて安心した部分もありますが、やはり気になった部分もあります。

まちづくりとの整合性を考えますと、例えば、内丸プランなど、盛岡市のまちづくりとの整合性を考えることが、どうしても優先されてしまい、沿岸や県北、県南などの様々な地域の人にとっては他人ごとになってしまうということは非常によくないと思います。そこをきちんと担保できるような方法、例えば、オンラインミーティングといった方法もあり得るかもしれませんが、少し考えていただきたいと思います。

### 岩間課長

この後、パブリック・コメントの説明もしますが、県庁舎が盛岡市内丸にありますので、やはり、県庁舎の近隣にお住まいの方が求める機能と、今おっしゃったような、全県的に求められる機能というところで多少差があります。

来年度、協働を考えていくときに、今、第34次の地方制度調査会が行われており、県と市町村がどう補完しながら事務をやっていくかといったところを本格的に話し合われています。その協働の中に、民間だけではなくて、市町村との新しい協働のあり方のようなものを検討していかなければならないというのがテーマになると考えています。その中で、全県的に、どういった協働のあり方があるのかというところは市町村も入れて考えていく必要があると思います。

## ② パブリック・コメントの実施状況について

### 南会長

それではただいまの説明につきまして、ご質問ございますでしょうか。

### 小井田構成員

おそらくもう既にお考えかとは思いますが、念押しの形で、一言申し上げますと、例えばNPOや市民、或いは他の自治体との関係というところで、いろいろ

な形で議論をしていく考えだと思うのですが、その際に特にこのパブリック・コメントでの幾つかの具体的な論点について、漏れがないような形で、基本計画に入れていただくことをお願いします。

### 岩間課長

今回パブリック・コメントとして17件のご意見をいただいておりますが、一般の方というよりは、ある程度、建築・建設の公共事業におそらく知見をお持ちの方々からの意見ではないかと思料しております。

一方で、こちらの意見の中で、やはり大事な問題として出てきている部分として、内丸のまちづくりや駐車場問題がかなり多く取り上げられています。

それから、一般的に県民アンケートで必要だと言われているような機能についても、「慎重に検討しろ」、「これは庁舎には要らないのではないか。」といったことをはっきり、コメントに書いている方もいるので、このあたりは議論が分かれる部分ではないかと思えます。

なので、こういった部分を中心に、専門的なところはなかなか難しいと思うのですが、可能な限り漏れのないように論点整理をして、諮っていきたいと考えています。

### 田村構成員

基本構想は最上位の全体像になるということがわかりました。これからいろいろなご意見を聞きながら、それから現実の制約を合わせて考えながら、固めていくという認識です。

今、議論があったように、意見を大きく2つに分けると、いわゆる専門家からの意見と、一般の方からの意見がありました。専門家の意見をどのように扱うかについては、専門家の先生方にお任せしつつ、考えていくものと思うのですが、一般の意見もすごく大事だと思うところです。

多様な主体が参画できる場を基本的なテーマにしている以上、いろいろと意見をお聞きするというステップは踏まなければいけないと思います。パブリック・コメントの意見をお聞きして感じることは、県庁に対して、パブリック側のイメージが一様ではないことです。

いわゆる、街中の1つの施設として立ち寄ることができたら良い、レストラン等があったら良いといったように感じている方から、県庁の機能を、市役所や役場のように捉えている方もいる。そういった様々なイメージが意見として集約されると抽象的になり過ぎて、建物の機能としてどのように活かすかの議論を難しくしています。意見をお聞きする際に、どのステークホルダーを集めるのかというところを少し整理しなければならないと思います。

県庁舎の使用者という観点では県庁職員、それから市町村職員であったり、関係機関であったり、それから多様な主体と呼ばれるこれから協働していこうという相手やNPOと、県民という3つの層と思っています。

それから、これらの各層からどのようにして意見を集めて、広く意見を聞いたことで、庁舎の機能に活かすためには、議論が必要です。行政職員等々についてはある程度アンケート等で協力いただけると思うのですが、全部署に意見聴取をするのは違うとなると、どのようにして意見を集めるのかということに、少し知恵を絞らなければいけないと思います。

次にNPOに関しては、県でリストを持っているのかといったところが気になります。

それからやはり県民全体の意見を調査して聞くとなると、とてつもなくコストがかかり、とてもできないと思うので、一部の方たちを呼んで、参画型の意見聴取のためのワークショップ形式でやるのかなと思うのですが、それをどのように組み立てていくかといったところも、これから早めに考えておかなければいけないと思うところです。

新潟県中越地震の小千谷市復興計画を作った際に協力したのですが、当時は、阪神・淡路大震災の時のような大都市の復興計画しかなく、どうするかとなった際に、平たく皆さんから意見カードを出してもらい、どういう復興計画にしたいといったことを整理し、その整理したものを、ワークショップに参加していただいた、県民並びにNPO等の組織をステークホルダーの代表者としてお見せしたうえでさらに意見をいただかないと、単に集めて話をするだけでは、意見が発散するため、一同に介することで、お互いの実現したいことを庁舎という限られた空間で実現することについても譲り合いを持って話をさせていただく必要があると思います。

一方でそれぞれが意見を言い始める中で、集約の場をもたず、一同に話す場も持たなければ、どんどん議論が細かくなってしまって、例えば駐車場をどうするかを検討するだけでは庁舎全体の整合が取れないのに、それのみで終わってしまうのではないかと思います。

多様な意見をどのように効率よく集約して、最終的に県民が納得したという形がとれるのかということについても、ここまで公開して議論しているので、ぜひ検討いただければありがたいと思います。

その辺りの方法論については、私自身は専門家だと自負しておりますので、よければ案などを出させていただければありがたいと思いました。

## 岩間課長

今、ご指摘いただいた意見聴取をどういうレイヤーで実施するかということになると、行政、NPO、県民といったときに、行政については、県・市町村の職員ということで、ここは既存のツールであったり、コミュニケーションしたりする方法がありますので、それをどう活用していくかということ、いろいろ聞き取れると思います。一方、先ほどお話した今後の県と市町村の協働のあり方といったところを踏まえて検討していかなければならないと思います。

NPOについては所管課も名簿もありまして、盛岡駅西口にあるアイーナという施設が、NPOとの協働を目的として設立した施設ですので、そういったところも活用しながらコミュニケーションを深められると思います。

第3層といいますか、一番重要な層の県民について、地域なのか、年代なのか、性別なのか、職域なのか、どういった形で区切って、どういった意見を聞いていくかということ、よほど準備して臨まないと、先ほどお話しいただいたように、なかなか収斂しないこととなり、こちらとすれば耐震性のない建物を急いで再整備しようというときに、やはり議論が発散しすぎるのも、正直、整備を急いでいる中では難しいところがあります。そちらについては、正直なところ我々は知見を全く持ち合わせていないというのが現状ですので、田村先生がお話されたような案の御意見を先生方からいただいて、我々としてそれに沿って活動をさせていただければ大変ありがたいと思っております。

## 田村構成員

アイーナのお話が出ましたが、既存の施設をどう活用して一体的に利用するかといったご意見については、防災のときに何度も申し上げたのですが、どのように全体的に活用していくかという絵を書いてあげれば、割と答えられると思います。

特に防災の場合は、オセロで白から黒に色が変わるように、(有事の際には)平時機能を防災機能に転用させることが理想だと思っております。

## 岩間課長

お話いただいたことに関して、まさに整理しなければならないと思っている案件ですので、そちらについても、オセロの白黒を例にお話がありましたが、どういった形、ステージで活用していけばいいか、どういったタイミングですればいいか、そのときにどういう整理が必要かというところをご助言いただければ幸いです。

## 南会長

県庁というのは、今、お話が出ている、意見を県民から聞くというプロセスは、確かにちょっとしたハードルが高いですね。市役所であれば、比較的空間的に狭い範囲ですからね。

乗り越えなければならないとは思いますが、今お話いただいた内容については、私もそのように思います。やはり皆さんで参画して、県の将来について、この県庁舎の再整備を通して考える機会に持っていったらいいなということだと思いますね。

少しハードルが高そうですが、良い方法を考えて、取り組んでいったらいいなと思います。

### ③ 岩手県庁舎再整備基本構想（最終案）について

## 南会長

議事3 「岩手県庁舎再整備基本構想（最終案）」についてですが、本件は特に事務局からのご説明は無いということですが、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

## 山本構成員

2点、質問です。概要版の6ページです。

行政機能と議会機能、単純に面積を人数で割ってみますと、職員1人当たり21㎡。議員さん1人当たり174㎡。議会には議場等ありますので、一概に面積が大きいとは言えないと思うのですが、現実には、県庁も市役所もそうなのですが、議会が開催されている期間はやむを得ないですが、開催されていないときに、行政が使う、県民が使う、そういう考え方をしておかないといけない。単純にその面積をずっと確保するという形ではなく、兼務できるような形も考えた方がいいというのが1点です。

それからもう1点が、概要版の8ページ。

整備手法のLCCの試算結果について、先ほどご説明がありましたが、一部建替が、LCCで上昇を見込んで考えると、逆転して改修のみよりもコストが少なくなる。そうすると、改修分を減築して、新庁舎の面積をもっと大きくすれば、もっと効果は高いのかなと思います。検討の要素はそこにあると思います。

## 岩間課長

議会機能の議会会期以外の使い方については、実は全国では、特に市町村では、通年議会で年間ずっと議会を開催しているところもありますが、本県はそうではありません。災害時に議会の施設を使えるようにという意見ですが、今本県でも、できる部分は取り組んでいるのですが、なかなかその民間に開放するとなると難しいところがあります。ただ全国を見ると事例があるということですので、今回の整備を機にこちらの考え方についても整理する必要があると考えています。

議会の意見を踏まえなければいけない部分がありますので、議会の皆様にご理解・ご協力をいただきながら検討していくということになると思います。

それから 8 ページのライフサイクルコストの試算ですが、減築の場合の費用はなかなか試算しがたいところではありますが、専門的な委員の皆様や、来年度基本計画の策定の支援に入っていただくような事業者と、費用合理性が最もあるのはどのような整備の手法かについて追求していきたいと考えておりますので、今いただいた意見については、検討を深めたいと考えております。

## 青笹構成員

基本構想で一部建替にたどり着いたので、これからはこれを前提にもう 1 回物事をいろいろ考えて、2 棟あることの特徴を生かした基本計画の作成を進めていただければと思います。例えば設備で言えば、現在の設備に余裕があれば、新しい設備から古い建物に供給して、古い設備はどうしても必要なときだけ使うといった役割分担も考えられます。

## 岩間課長

事務局の考え方とも一致していますので、そういった形で進めたいと考えております。引き続きご意見賜りたいと思います。

## 南会長

これまでずっと長い時間をかけて、知恵をいただきながらまとめてきたものです。深く幅広い議論を進めながら、集約して、今、この最終案になっていると思います。

もしお気づきのことがございましたら、ご意見いただけたらと思います。

## 岩間課長

今回は第4回、第5回の懇話会で意見をいただいたものについて、対応をご説明させていただきました。改めまして第5回の懇話会について、年末年始の忙しい時期にお願いして、この基本構想の案について、多数の修正の意見をかなり細かいところまでいただきまして、正直、我々の単純なミスといったところもあり、ご迷惑をおかけしました。

第4回、第5回、パブリック・コメントにおいて、多数ご意見いただいた部分の修正箇所については、別途資料に取りまとめておりましたので、ぜひそちらを御覧いただければということをもう1回申し添えさせていただきます。

## 南会長

この懇話会を通してそうですし、パブリック・コメントを通じて、県民から広く意見を集めていることについて、それこそ協働を進めるということですので、大事にして、今後も進めていただきたいと思います。

## ④ 今後の進め方について

## 南会長

それではただいまの御説明につきまして、質疑をお願いいたします。

## 小井田構成員

先ほど、いくつか出てきたお話に関して、このスケジュールのどこで、NPOへのアンケートの実施や、市町村との連携等を考えたらいいか教えていただきたいと思います。

特に盛岡市の場合だと内丸プランとの関係があると思うのですが、もしかするとここに直接入るのではなく、もっと別な形で綿密に情報交換しながら進めていくということになると思うのですが、そのあたりをお聞かせください。

## 岩間課長

先ほどお話がありました、どういった形で意見聴取するかというところを整理する必要がありますが、実際には基本計画が、ある程度出来上がってから聞いても仕方がないというところもありますので、やはり上半期にどういった形で、聞いていくかというところを計画策定支援事業者との打ち合わせもあろうかと思いますが、検討していく必要があると考えています。

やはり内丸プランの各街区の整備方針編の中には、今回の県庁舎の整備が、ダイレクトに関係する内容になりますので、盛岡市とは今は駐車場との関わりが中心ではありますが、今後、もう少し踏み込んだ話になっていくと思います。

いずれにしても、上半期、多様な主体から意見を聞くような機会を設けたいと考えています。

### 青笹構成員

基本構想で理念をカテゴリ化して示したので、基本計画では、それぞれの理念ごとにどのように詰めていくかとスケジュールの視点があってもいいのではないかと思います。例えば、防災について、環境についてなど、テーマごとにワークショップを行ってもいいかなと思いました。

### 岩間課長

今回、防災・環境・協働・働き方という形で4つの基本理念を整理しましたので、今いただいたご指摘は大変有効だと考えますので、検討させていただきます。

### 市島構成員

いろいろな意見聴取の話が出てきていて、やはり県民に広く意見を聴取したほうがいいという考え方もあるでしょうし、前回とか前々回の議論の中でも出てきたのですが、やはり県民に聞くと、カフェが欲しい、レストランが欲しいとか、そういう欲しいものだけを要求するといったようなことになりがちです。

県庁舎の場合は県庁舎に来られる方にどういう機能が必要なのかというところで、今日、1つ良いポイントが出てきていたのが、市町村の職員です。特に行政の職員の方からの意見は非常に重要と思いますし、それからNPOとか、よく県庁舎に来られる方からは、機能面のご意見をいただいた方がいいでしょう。一方で県民の意見もやはり重要なので、県民からは象徴としての県庁舎に関する意見をもらうことが必要でしょう。ターゲットごとにどういう意見を求めるかということの色分けしないといけないと思います。繰り返しになりますが、県民から意見を聞くと、レストランが欲しいとか、展望スペースが欲しいとか、そういう意見になりがちです。

今回のパブリック・コメントが盛岡市の方だけということを私は少し気になっていて、やはり岩手県なので、盛岡市だけではありません。そうすると県北・県南・沿岸、それぞれのご意見を聴取する場合に、一番お勧めしたいのはインターネット調査で割り当てるということ。地域ごとに割り当てたり、それから、性別、年齢で割り当てたりして調査をする。質問項目についても何が欲しいかではなくて、象徴的な県庁舎としてのご意見を聴取できるような設問を設計してい

かないと、基本計画に役に立つような回答を得られないと思いました。

アンケート調査はアンケート調査、ワークショップはワークショップで、それぞれのターゲットに何を求めるかをまずは精査してから、意見聴取のあり方の検討を進めたらよいと思いました。

お手伝いいたしますので、相談いただければと思います。

## 小野田構成員

今、市島先生が非常に言いにくいことをはっきり言っていただきましたが、まさにその通りで、意見を聞いて答えたからそれに対応して話が終わり、ということではない。

民主主義なので、そういう過程は絶対に必要で、専門家の独断で進めるべきだという、極端なことを思っているわけでは決してないのですが、やはりそれだけでは、限界がある。それを補完するような、しっかりとした対応が必要だと思っていたことを言っていた。

今、別のところでいくつか、公共事業に関わっておりまして、皆さんもよくご存じのとおり、軒並み建設費の高騰で、事業の見直し、民間に関しては、事業が取り止めとなっている。

さらに、今日もニュースになっていましたが、原油価格がさらに上がる。そういった、マーケットの状況にも対応しながら、何が必要かというところは発注方法も含めて丁寧に取り組んでいく必要がある。

書いてあるから、その通りにやれるわけでは全くなくて、ビジネスなので、やっぱり信頼できない、鞭しか振るわない相手には、その分のリスクを乗せられるだけなので、ちゃんとした対応をしないとイケない。

それを厳しくやって、一般的に建設業は悪者だから、どんどん鞭を振るったほうが良いといった、そのように厳しくしたほうが、気持ちがよくてやった感があるのですが、結局、こういう厳しい状況下では、それはすごく損な買い物をさせられることになる。

だけど、透明性・公平性は必要なので、どういう発注が相応しいのかと言うことを、県民の皆さんとともに、言いにくいこと、聞きにくいこと、耳ざわりの悪いことも含めてしっかりとやることが重要だと思います。

最後に、他の自治体との関係ですが、東日本大震災から15年たって、私はずっと三陸の沿岸にいましたが、沿岸の人たちと一緒に仕事をして県庁が非常に頼りにされているというところも見ましたが、同時に、彼らからどう見えているのかということも、痛いほどよく知っているのも、ああいう人たちが、もう少しフランクに対応できるような場所。オフィスの中でもタッチダウンオフィスとか、カフェは贅沢だから要らないとかそういうことではなくて、カフェ機能も

あるような、彼らと一緒にディスカッションできるような場所を積極的に開いていく。オンラインの方法もあるが実際に会いながら、信頼を培っていけるような形にしていけないといけない。

ますます自治体も、職員が減って、やらなければいけないことが非常に増えて疲弊していく。

今でも時々呼ばれて話を聞いていて、みんなが言うのは本当に人がいない、特に建設関係等の専門職が全然いないということ。そうすると、業務が難しくなって、県庁の助けも借りたいが、県庁も手一杯で、我々の方を向いてくれないから、非常に難しい中をやっていかなければいけないのでしょうね。といった話を夜に食事をするとよくされるので、やっぱりそういう厳しい状況において、頑張っておられる自治体の皆さんにとっても、自治体の人ではない人にとっても希望になるようなものが新しい庁舎に求められると思います。

## 工藤構成員

経営者の方々などとお話していると、この県庁舎の再整備の懇話会に参画しているという話をすると、これまでの繰り返しになると思うのですが、駐車場が止めやすくなるという、市役所と県庁と行くたびに止め直さなくてはいけなから、一度停めれば済むようになるという、といったお話をいただきます。

また、盛岡市庁舎の整備が具体化していない中でのお話になるわけですが、やはりせっかく県庁舎が再整備されるということであれば人流が増えたり、活性化するといいですが、商店街としては、影響がプラスになればいいのですが、一方で新しい建物に、いっぱい飲食店とかも入って、周辺のお店に行かなくなるのも困るので、そういった調整が、むしろ周りの商店街、飲食店に人がたくさん行き、集まるようになって活性化に繋がるといいと思います。

そういったことからすると、盛岡市の内丸プランとの調整とか、或いは近隣の商店街との調整とか、そういったことは、これまでもお話した通りに、お願いしたいところではあるのですが、一方でそもそも県庁舎の再整備ということで本当に必要な機能はどこまでかといった検討が、今後基本計画の策定にあたっては、さらに深まっていくといいと思います。

その際に、今日お話が出ている意見聴取にあたっては、そういった活性化や、交流人口など、基本構想からの基本理念であります、防災・環境・働き方・協働が大事だと思います。

そして県民に親しまれ愛される庁舎ということが協働の理念では掲げられていますので、親しまれ、愛されるという点では、そういった意見を出して関わると、愛着もわいてくるだろうということで、盛岡市だけではなく、県内とか多くの方々の意見を聴取するという形で進めると、多くの方々の納得感が出て、さら

に愛着がわき、親しまれ愛されるというところがさらに進むかなと思いますので、今後、そういったところを期待いたします。

### 田村構成員

県民の意見を聞くのは8月ぐらいにやらないと間に合わない。

県民に聞くと、喫茶店作りましょう、レストラン作りましょうというお話だけを聞かされることになるのではないかといったお話がありましたが、手法としては、ある程度、こちらから、全体の配置やデザインのまとめ案を出したところに意見をいただく。

個別のことではなく、全体の配置やデザインに対して意見をいただければ、個別のことばかり言ってもだめだということを、自覚することができるので、聞くことが無駄になることにはならない。一方で、いただいた意見を採用しない場合は、全体的な配置やデザインを示して現実的な制約を示して、それが制約によりできないという話をすればよいのです。ただ、全体像を示せば、個別のことに固執するような議論にはならないのではないかと思います。

### 高橋構成員

先ほど、今後のスケジュールを聞いたときに、まだ、たくさんいろんなことがあるのだということを思った次第で、更に、各層のご意見も伺うということで、事務局も大変だと思ったところです。

基本構想なり、基本計画を検討しながら作っていく中で、ご意見を聞くにしても、ある程度の幅を示す、できることできないことがあるとかですね、そういったようなことも、やっていかなければならないと思いました。

そうした中で、私は社会福祉協議会の立場から、福祉的な部分、ユニバーサルデザインといったようなことについても、具体化する中で、お考えいただく、検討していただく、ご意見を伺う、といったことができればよいと思っております。

### 岩間課長

今までいただいたご意見をまとめて事務局からお返ししますが、やはり懇話会、全6回を公開の場で開催しておりまして、いくつかの会は、クローズでいろんな話をするのが多いと思いますし、今回、委員の皆様が自由に意見を述べていただきまして、今、お話いただいた中で、特に我々としてはなかなか、県職員としては話しづらいですが、専門家とか学識経験者による独断なのか、県民の皆さんの意見をしっかりと聞いて取り組むのか、やはりここは、ジレンマであり、相克する部分がありますし、お話いただいた公平性・公正性という部分と、良い建物を建てるために、どこまでどういうことをするのかというところも当然、我々

としてはジレンマになってくるだろうと思います。

もう1つ申せば、市町村との関係は法律上対等ということになっていますが、今まで議論されてきているのは、県による垂直補完といったところが議論されていますので、水平対等な関係の中で、今まで、それに足るような役割を果たしてきたのかというような、お話もありまして、なかなか我々だけですと、とても出てこない意見、或いは、思ってもなかなか表現できないような意見など、この場でいろんな議論ができて参考させていただくところが大変多いと考えています。

特に建設費高騰の問題については、今後も、より進んでいきそうな感じがありますので、来年度の計画の中でまた、いろんな出来事が入ってくることは十分に想定されますので、引き続きよろしくお願ひしたいと今までの意見を聞いて感じました。

## 南会長

何度も申し上げてきたことですが、基本構想で最も肝心となる最初のコンセプトづくりを皆さんで進めてきましたし、その中で、いろんな側面からの議論ができてきたのは良かったと思います。

県庁が61歳になりますが、これからはもっと厳しい時代に向かったの50年、60年が始まると思います。

ぜひ、ここでの議論が活かされていくように、全県民、市町村にも信頼されるような形で、県庁の整備がリーディングプロジェクトになっていくよう、さらに進めていただければと思います。

以上をもって議事を終了します。